

# ふおと にゅ〜す

## キャンプ場の再開を目指して



▲ 10月11・24日の2日間、大野アルプスランドで「きれいにしよう！大野山（主催＝町観光協会）」と題した美化イベントが、延べ約100人のボランティアの協力により実施されました。参加者は、平成31年1月から閉鎖しているキャンプ場の再開に向け、樹木の伐採やペンキ塗りなどを精力的に行いました。

## 楽しみながら健康に！



▲ 9月20日、猪名川台北公園で健康器具のオープニングセレモニーが行われました。セレモニー後、使い方のレクチャーを受けた参加者は、早速器具を使って体を動かし、「公園に来る楽しみができた」「毎日でも来たい！」と、嬉しそうに話していました。

健康器具の設置は、「健康長寿のまち 猪名川」を目指す取り組みとして各地域で進めており、うぐいす池公園、大原公園、ふれあい公園、歴史街道（木津地区内）、大島であい公園、猪名川甲英高等学校にも設置しています。運動だけではなく、地域の交流の場としても活用いただき、健康な心と体を作りましょう。

## 親子で収穫！秋の味覚



▲ 10月10日、青少年いこいの家で「芋と栗の収穫祭」が行われ、町内外から47人の親子が参加しました。参加した子どもは、「おっきいサツマイモが掘れて楽しかった！自分で穫ったから残さず食べたいです。」と、嬉しそうに話してくれました。

## わんぱく彩色木工塾



▲ 10月3日、環境交流館で「わんぱく彩色木工塾」が行われました。参加者は、大工道具の使い方などの説明を受け、本棚やドールハウス、テーブルなど、それぞれが希望する木工作品1点の制作を行いました。「苦勞して作り上げた作品なので大切にしたい」、「ノコギリや金づちなどを使う機会が少ないので、貴重な体験ができた」と感想を話してくれました。

## 美味しさギュウっと神戸ビーフ！



▲ 10月14日、町立幼稚園、小・中学校の給食で神戸ビーフを使った「焼き肉」が提供されました。これは、新型コロナウイルス感染症により需要が減った県産和牛肉の消費拡大と、地産地消の取り組みとして県が行ったものです。子どもたちは、いつも以上に美味しい給食で大満足の笑顔！「もっと食べた〜い」とたくさんの声が聞こえてきました。

## 一生懸命がんばった運動会



▲ 10月2日、町内の各幼稚園で運動会を行いました。今年は、各園とも新型コロナウイルス感染症の影響で十分な練習時間がありませんでしたが、子どもたちはかけっこやダンスなど力いっぱい頑張っていました。

